

第1回議会報告会

平成26年5月16日(金)開催

報告書



奈良市議会

I はじめに

奈良市議会は、議会基本条例を定めてから初めての議会報告会を平成26年5月16日に開催いたしました。お忙しい中ご参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

また、当日参加いただけなかった皆様にも、当日の様様をホームページに録画中継を掲載しておりますので、ご覧になっていただければと存じます。

(ホームページアドレス <http://www.gikai-tv.jp/dvl-narashi/2.html>)

今回の開催については、初めての議会報告会ということから、議会内において、所管する広報広聴委員会を始め、様々な形で議論を行いながら進めてまいりました。

そこで、まずは議員全員が一つの会場に集まり、皆様とお会いしようとする事といたしました。報告会を議員で作り上げるため、資料の準備や会場設営、参加の方の会場への誘導など、議員により実施し、担当場所では参加いただいた方より、温かいお言葉を頂戴いたしました。

市民の方に興味を持っていただけるよう、第1部として予算を中心とした3月定例会での審査状況を報告して、続く第2部では、その内容を中心に市民の皆様のお声を頂戴いたしました。

参加された皆様からは、市民と議員の対話は貴重であり今後も続けてほしいというご意見とともに、市の財政に関することや、老春手帳の入浴補助などについて、質問がありました。

また、参加者の方々のアンケート結果では、今後の議会報告会について「必ず参加する」と「都合が良ければ参加する」を合わせると96%を超えています。それらを踏まえ、市議会では、議会報告会をさらに充実させていきたいと考えています。

報告会の内容については、「配布資料が分かりやすかった」「議会だよりと合わせればさらにわかりやすい」と評価をいただく意見がある一方で、「もっとわかりやすい言葉で」「議員全員の声も聞きたかった」「報告の項目が多すぎてついていけない」などの厳しいご意見も多くいただきました。

今後の開催につきまして、アンケート結果等を踏まえ、広報広聴委員会を始め、議会全体で検討し、さらに多くの方に参加いただき、より身近な親しみのある市議会となるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

Ⅱ 議会報告会の概要

1. 主催 奈良市議会
2. 日時 平成26年5月16日（金）
午後7時～午後8時35分
3. 場所 市役所西棟3階大会議室
4. 内容
 - 1) 開会のあいさつ
『第一部 議会報告』
 - 2) 奈良市議会の概要について
 - 3) 平成26年3月定例会の概要について
 - ①総務に係る部門
 - ②観光文教水道に係る部門
 - ③厚生消防に係る部門
 - ④市民環境に係る部門
 - ⑤建設に係る部門
 - 『第二部 意見交換』
 - 4) 質疑及び意見交換
 - ①『第一部 議会報告』について
 - ②その他
 - 5) 閉会のあいさつ



5. 参加者 81人のご参加をいただき、質疑応答では9人の方々から報告に対する質問や議会に対する要望などを受けました。



Ⅲ 議会報告会での質疑応答の要旨

(質問者については「市民」と、答については担当する「〇〇部門」等としています)

市民 老春手帳の入浴事業は、高齢者にとって重要である。もっと理解して、存続のために御尽力いただきたい。

厚生消防部門 委員会でも意見や質問があった。意見をしっかりと受け止めて、議会でもさらに議論をしていくことが必要と思う。

市民 米作りについて、先進地を視察すると、生産者だけではなくJAや行政、議会も販路拡大などに取り組んでいる。奈良の食文化を組織として広げていくことへ、議会としても力をお貸しいただきたい。

観光文教水道部門 奈良の食ブランド、戦略については、行政が新しく4事業を立ち上げている。今後、行政がしっかりと取り組んでいくことについて、議員もしっかりとやっていきたいと考える。

市民 市営住宅の家賃滞納について、市長は議会を通さず強行に出ているが。

建設部門 3月議会には請願第6号「市営住宅の地元市営住宅住民と行政との協議の場の設置を求める請願書」が上がっている。「市営住宅に入居している方と行政がしっかりと話ができる場の設置を」という内容で、その審査に当たり、各委員から「生活困窮者で、市営住宅を追い出されたらどうするのか」などの意見や質問があった。一方では、「住民としっかり話し合いをすることは、行政としてまだまだ不足しているのでは」という意見もあった。結果的には、この請願は、現在は市民環境委員会において審査している。

市民 生活保護の不正受給については。

厚生消防部門 不正受給に対する厳しい対応について、それを前提としながらも、本当に必要な人がちゃんと受けることができるように、ということでも質問があった。意見についてしっかりと受け止め取り組んで行きたい。

市民 生活保護を受けてる人に市営住宅の家賃を滞納される。それこそ、市長が無駄な金を使っているのではないか。

厚生消防部門 意見は承っておきます。



市民各地の自治体で、自治基本条例が次々と制定される状況がある。この条例では、外国人も住民投票に参加する権利を与えて市政に加われる。外国人参政権は絶対に認めてはいけない。せめてこの奈良市だけでは可決されないよう、どうか議員の皆様にお願ひする。

司会意見ということで承りさせていただく。

市民市の予算が32億円少ないとのことだが、債権回収について、議会において、アルミやスチール缶で6800万円の回収漏れがあると質問があったが、その後はどうか。

司会市側の対応という形になるので、その事実に対して、市議会の方で調査をさせていただき、市部局の方へ申し入れをさせていただきたい。

市民老春手帳の入浴券について、特定の市民に対する優遇措置などと答弁されているが、高齢者は社会的弱者である。弱者に対する援助は、特定の人に援助するということではない。また、ポイントカード制度は、移動の困難な方にとって、非常に酷な制度だと思う。こういうことに賛成された気持ちがわからない。

厚生消防部門市長部局の執行に関わることであり、意見として承っておきたい。

市民県の進める若草山のモノレールの設置計画について、設置には市長の許可が必要で、設置すれば奈良の世界遺産が取り消しになるおそれがあると言われているが、市議会ではどういう議論をされたのか。

建設部門議会では3月議会本会議等で質問があった。市長は、若草山モノレールについて、世界遺産が損なわれるのなら、強い懸念を表明しながら注視していきたいという立場を取っている。県の事業であり、現時点では、市としてどうこうということにはなっていない。なお、今、市議会でも県知事に対して、モノレールを設置することをやめて欲しいという意見書が提案されていて継続審査中である。6月議会中に結論を出す予定だが、その内容は皆様にも傍聴していただけたらと思う。

市民ならまちセンターの一階のギャラリーについて、補修工事の予算がついたとのことだが、工事をして何かに変えると聞いた。元のままにしておいてほしいが。

観光文教水道部門3月定例会の中で、ならまちセンターの改修事業のスケジュールや運営形態について、拙速だという質問もあった。それに対し、市長からは、この改修は平成26年9月から来年3月にかけて予定をしていて、展示施設については周辺の他のギャラリー、例えば生涯学習センター等を利用していただくこともお願いしたいという答弁があった。

市民代替地をとのことだが、あの場所が一番いい場所だった。他の施設をあたったが、全て小さくて使用料がすごく高い。一階のギャラリーはそのままにして、これからも使用させていただけたら。

司会市議会に対しての要望ということで承りさせていただきたい。

市民小学校低学年では学校よりもバンビーホームで過ごしている時間のほうが長い。にも関わらず、非常勤嘱託職員ばかりである。責任所在の点で、正規職員を配置すべきだがなかなか進まない。保護者の不安に対して、議員の認識はどうか。

議員の心からの理解の欠如が、バンビーホームの実情を知ってもらえてないことの原因の一つと思う。どう考えていて、このあと地域に対して、どう働きかけるのか、どう協力いただけるのか、一緒に考えてほしい。

観光文教水道部門バンビーホームの課題について、ある程度認識をしている。子ども子育て新プランも、今後しっかりと取り組んでいかなければならない非常に重要な課題である。また、議員個々の取り組みについては、意見を賜ったということで、各議員しっかりと取り組んで参りたい。



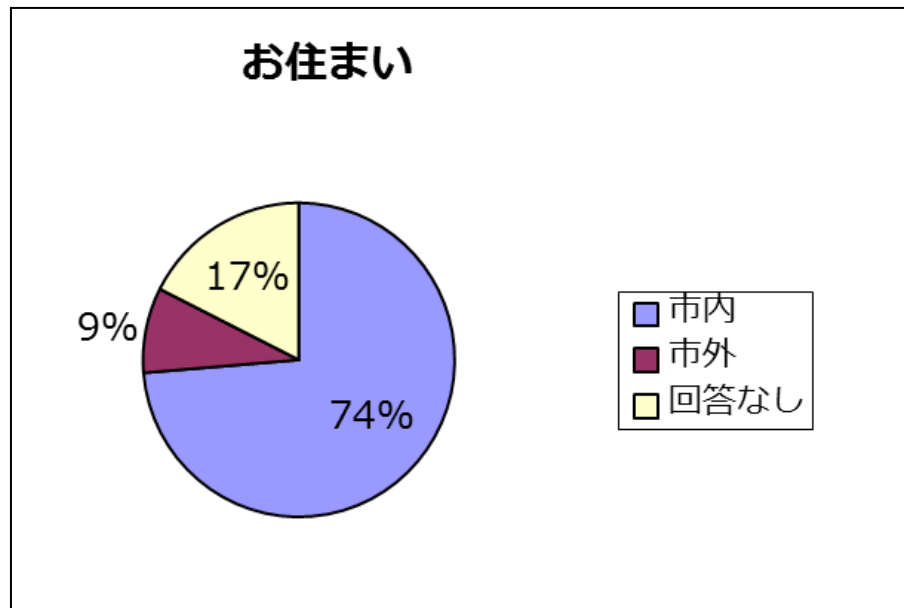
IV 参加者アンケートの結果

81人の参加者のうち、57人の方々からアンケートにご協力をいただきました。
ありがとうございました。

1. 参加者の住所・年齢・性別・職業

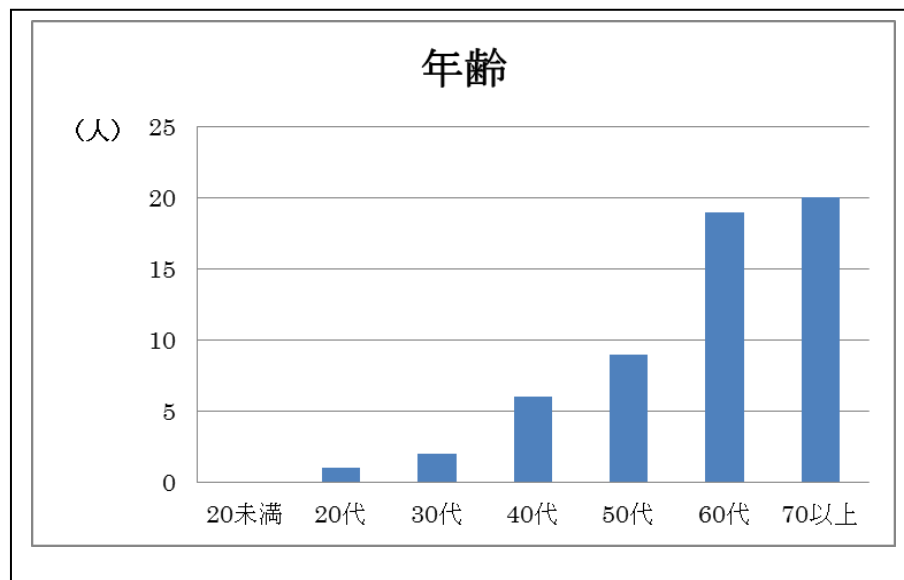
①住所

- ・市内 42人
- ・市外 5人
- ・未回答 10人



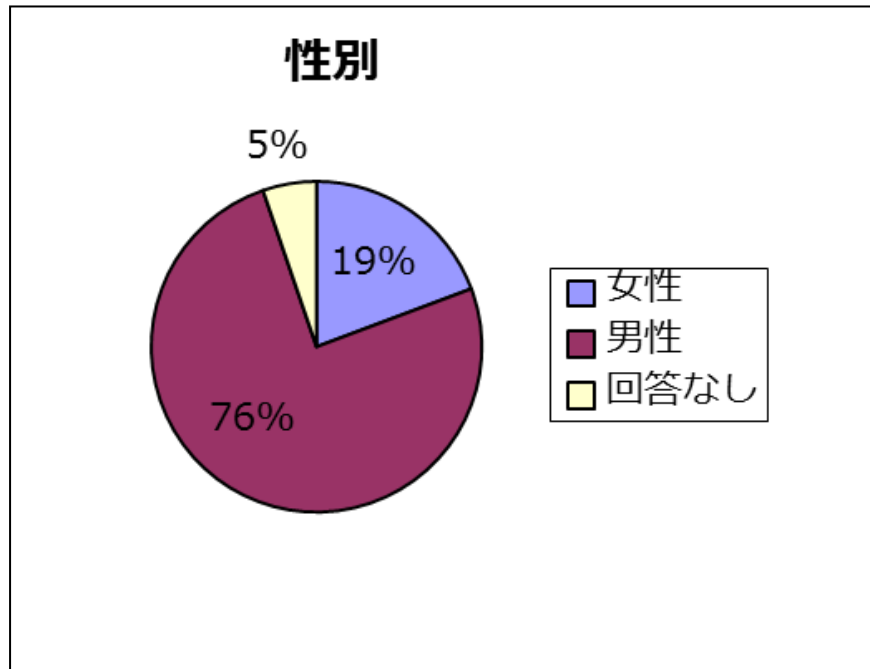
②年齢

- ・20歳未満 0人
- ・20代 1人
- ・30代 2人
- ・40代 6人
- ・50代 9人
- ・60代 19人
- ・70代以上 20人



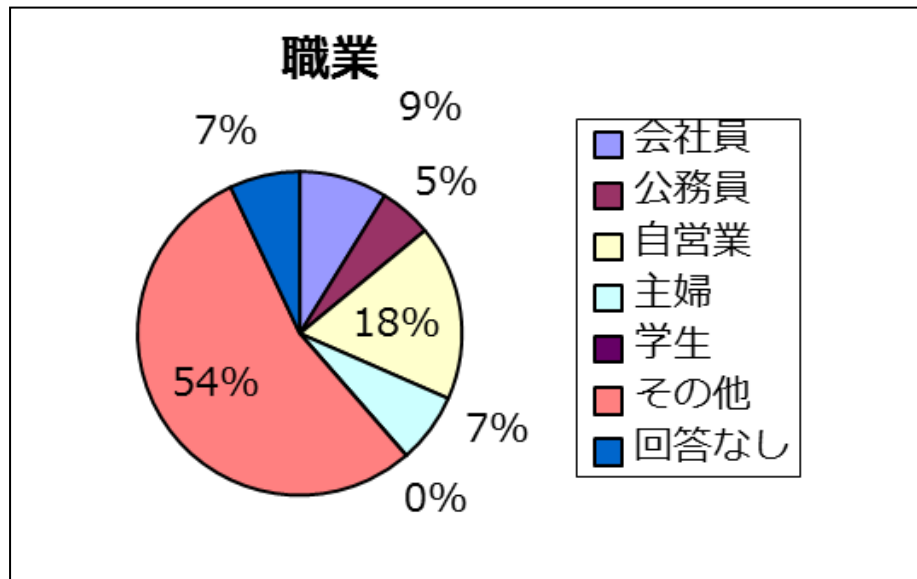
③性別

- ・女性 11人
- ・男性 43人
- ・回答なし 3人



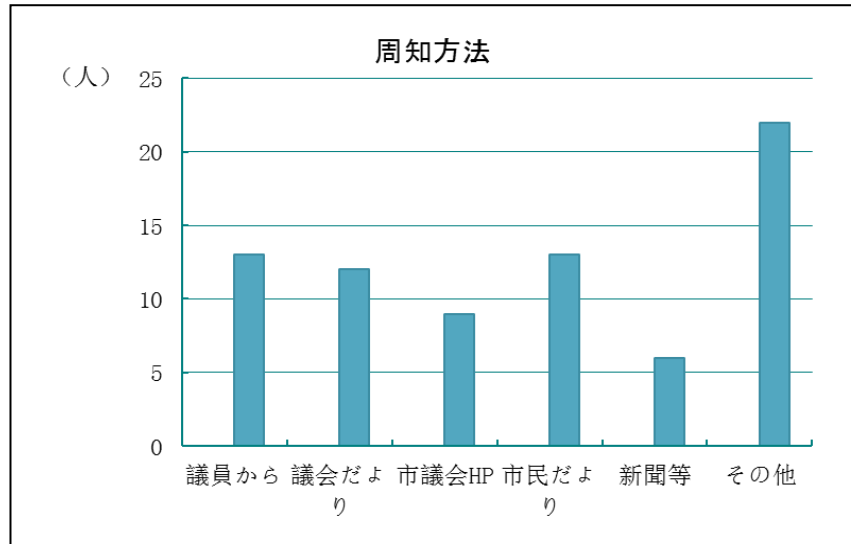
④職業

- ・会社員 5人
- ・公務員 3人
- ・自営業 10人
- ・主婦 4人
- ・学生 0人
- ・その他 31人
- ・回答なし 4人



2. 議会報告会の情報はどこから知りましたか (複数回答)

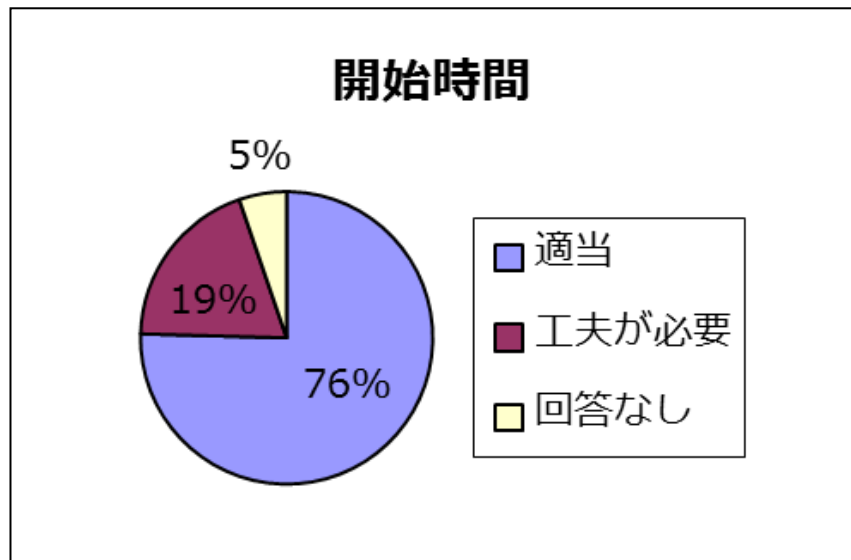
- ・ 議員から 13人
- ・ 議会だより 12人
- ・ 市議会HP 9人
- ・ 市民だより 13人
- ・ 新聞等 6人
- ・ その他 22人



3. 開始時間・会議時間について

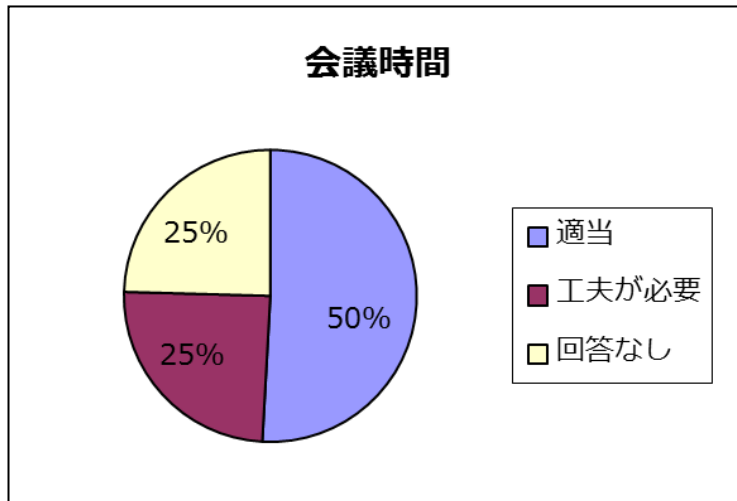
①開始時間

- ・ 適当 43人
- ・ 工夫が必要 11人
- ・ 回答なし 3人



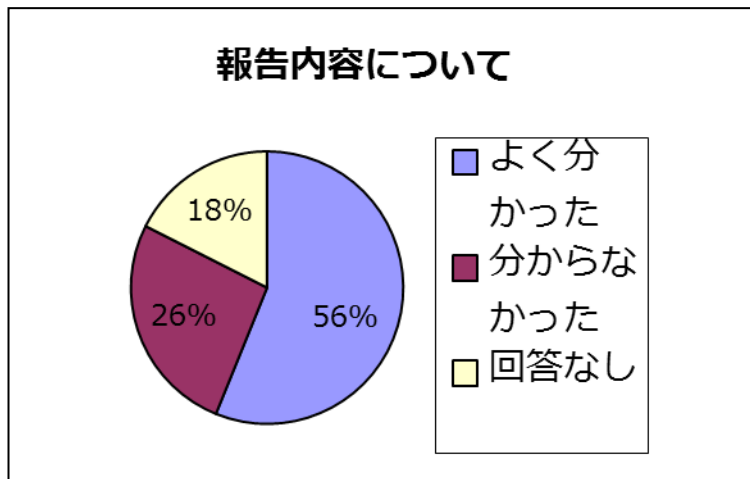
②会議時間

- ・ 適当 29人
- ・ 工夫が必要 14人
- ・ その他 14人



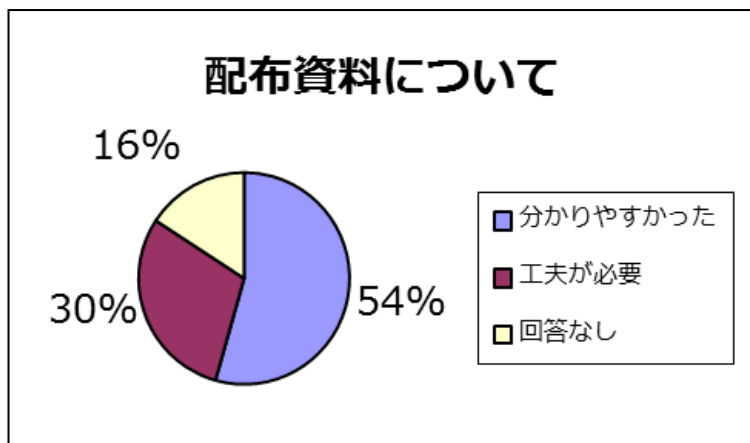
4. 報告内容について

- ・ よくわかった 32人
- ・ 分からなかった 15人
- ・ 回答なし 10人



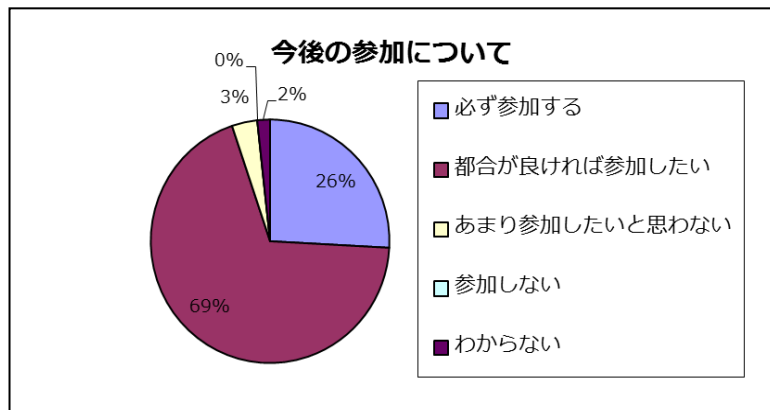
5. 配布資料について

- ・ 分かりやすかった 31人
- ・ 工夫が必要 17人
- ・ 回答なし 9人



6. 今後の参加について

- ・必ず参加する 15人
- ・都合が良ければ参加したい 40人
- ・あまり参加したいと思わない 2人
- ・参加しない 0人
- ・わからない 1人



7. その他（意見・要望など）について

（自由記入）

- 議会報告会について良かったとの感想では
 - 「タイムリーな企画だと思う」
 - 「第2部として市民の声を聴く場の取り組みは良い」
 - 「意見交換の場を多く設けることで、議員と市民の交流ができる」など
- 議会報告会について改善をとの感想では
 - ①第1部について
 - 「報告は資料を配ってそれを読むだけで時間のムダだと感じた」
 - 「賛否の分かれた議案に絞り、議案を説明した上で質疑内容を紹介したらわかりやすい」
 - 「報告の項目数が多すぎてついていけない」など
 - ②第2部について
 - 「あまりに個人的な質問が多く、奈良市の未来がこれで本当に良くなると感じられない」
 - 「答えも少し通り一遍だったのではないか」
 - 「質問に対する答があいまい」
 - 「質問時間をもっと長くして下さい」など
- 今後の議会報告会のあり方に関しては
 - 「5議員8テーブルで質疑をするなど、ラウンドテーブル化してほしい」
 - 「定例会ごとに報告会を開催してほしい」
 - 「地域から出ている議員を中心に解りやすく話をしてほしい」
 - 「理事者も出席してほしい」
 - 「市長とのミーティングのように地区別に数回実施されているのを見ならうべき」など
- その他、議会全体に対する感想としては
 - 「政策提案力や痛みを伴う改革への説明能力を培っていただきたい」
 - 「より市民の声が反映される議会であるように」
 - 「議決前に市民の声を聞いてほしい」など



参加者の皆様、貴重なご意見ありがとうございました



議員で会場をかたづけました